

巻頭特集 2023年G7広島サミット：広島から世界へ — 分断と対立ではなく協調と平和の世界へ —

1 G7広島サミット（5月）	003
2 G7外相会合	012

第1章 国際情勢認識と日本外交の展望： 歴史の転換点にある世界へのメッセージ — 人間の尊厳 —

1 情勢認識	014
2 日本外交の展望	018
特集 ウクライナの復旧・復興に向けた日本の取組	026
特集 日本のパレスチナ・ガザ地区における取組	028

第2章 しなやかで、揺るぎない地域外交

第1節 法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の推進	030
1 総論	030
2 新プランの下での具体的な取組	031
3 各国との連携・協力	031
特集 日米韓3か国の連携	035
第2節 アジア・大洋州	036
1 概観	036
2 中国・モンゴルなど	039
3 朝鮮半島	052
4 東南アジア	065
コラム 天皇后両陛下のインドネシア御訪問	067
コラム 日・カンボジア外交関係樹立70周年	068
コラム 日・ベトナム外交関係樹立50周年	072
5 南アジア	074
6 大洋州	077
7 地域協力・地域間協力	083
特集 日本ASEAN友好協力50周年	087
第3節 北米	092
1 概観	092

2	米国	093
	コラム 通じ合った桜の思い ―岸田裕子総理大臣夫人の訪米―	098
3	カナダ	103
	コラム 私たちをつなぐ絆 ―日本ハワイ姉妹・友好都市交流からの日米関係強化―	104
第4節 中南米		107
1	概観	107
2	地域機構	108
3	中南米各国	110
	コラム 海の向こうの旧友 日・ペルー外交関係樹立 150 周年	113
	コラム 中南米日系社会との絆	118
第5節 欧州		119
1	概観	119
2	欧州地域情勢	120
3	地域機関との協力及びアジア欧州会合 (ASEM)	129
	特集 日・NATO 協力の進展	130
	コラム 一層深まる日・ルーマニア関係 ―戦略的パートナーへの格上げ―	137
	コラム 在マルタ兼勤駐在官事務所の開設	139
第6節 ロシア・ベラルーシと中央アジア・コーカサス		140
1	概観	140
2	ロシア・ベラルーシ	140
3	中央アジア・コーカサス諸国	145
	コラム 「中央アジア+日本」対話 20 周年を迎えて	149
第7節 中東と北アフリカ		150
1	概観	150
2	中東地域情勢	151
3	北アフリカ地域情勢 (エジプト、リビア、チュニジア、アルジェリア、モロッコ)	160
	コラム サウジアラビアで熱狂に包まれる日本人ポップアーティスト	163
	コラム 大エジプト博物館建設こぼれ話 ―飛行機のエチケット袋が歴史を作ることもある！？―	164
第8節 アフリカ		166
1	概観	166
	特集 岸田総理大臣のアフリカ訪問	167
2	東部アフリカ地域	168
3	南部アフリカ地域	171
4	中部アフリカ地域	173
5	西部アフリカ地域	175

第3章 世界と共創し、国益を守る外交

第1節 日本と国際社会の平和と安定に向けた取組	180
1 安全保障に関する取組	180
2 日米安全保障（安保）体制	181
特集 拡大抑止とは何か	183
コラム 日米交流の促進・相互理解の増進のためのプロジェクト（SEED）	187
3 グローバルな安全保障	188
地域安全保障（p.188）、経済安全保障（p.192）、サイバー（p.197）、	
国際的な海洋秩序の維持・発展（p.198）、宇宙（p.202）、平和維持・平和構築（p.207）、	
治安上の脅威に対する取組（p.209）	
特集 経済的威圧への対応	196
特集 政府安全保障能力強化支援（OSA）の創設	203
特集 「日・米宇宙協力に関する枠組協定」締結までの道のり	206
コラム 平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業に参加して	210
コラム 国連の会議でラポラトゥール（報告者）を務めて	212
コラム タイ・ミャンマー国境の子どもたちを助けるために ―ユネスコによる教育・人道支援―	215
4 軍縮・不拡散・原子力の平和的利用	216
特集 ALPS処理水の海洋放出の安全性	228
5 国際連合（国連）における取組	230
特集 安保理非常任理事国に就任して	233
6 国際社会における法の支配	236
特集 第1回「東京国際法セミナー」の開催	239
特集 国連海洋法条約と多様化する海洋の課題 ―海洋環境の視点から―	241
7 人権	242
8 ジェンダー平等・女性のエンパワーメント	245
特集 ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けて	
―G7 ジェンダー平等アドバイザー評議会（GEAC）・国際女性会議 WAW! フォローアップウィーク―	249
第2節 日本の国際協力（開発協力と地球規模課題への取組）	251
1 開発協力	251
開発協力大綱と日本のODA実績（p.251）、2023年の開発協力（p.253）、	
国際協力事業関係者の安全対策（p.255）、主な地域への取組（p.255）、	
適正かつ効果的なODA実施のための取組（p.262）	
特集 新たな開発協力大綱	252
コラム まさかの時の友こそ真の友 ―日本とトルコ 助け合いの100年―	261
2 地球規模課題への取組	263
持続可能な開発のための2030アジェンダ（p.263）、国際保健（p.265）、労働・雇用（p.267）、	
環境・気候変動（p.269）、北極・南極（p.273）	
コラム ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成に向けた日本の取組	268
3 科学技術外交	274

第3節 経済外交	276
1 経済外交の概観	276
2 自由で公正な経済秩序を広げるための取組	276
経済連携の推進 (p.276)、国際機関における取組 (p.283)、知的財産の保護 (p.285)	
3 国際会議における議論の主導	286
G7 (p.286)、G20 (p.288)、アジア太平洋経済協力 (APEC) (p.288)	
4 日本企業の海外展開支援 (日本の農林水産物・日本産食品の輸出促進を含む。)	289
外務本省・在外公館が一体となった日本企業の海外展開の推進 (p.289)、 インフラシステムの海外展開の推進 (p.290)、 日本の農林水産物・食品の輸出促進 (東日本大震災後の日本産食品に対する輸入規制撤廃) (p.290)	
5 資源外交と対日直接投資の促進	291
エネルギー・鉱物資源の安定的かつ安価な供給の確保 (p.291)、食料安全保障の確保 (p.294)、 漁業 (マグロ・捕鯨など) (p.295)、対日直接投資 (p.296)、 2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) 開催に向けた取組 (p.297)	
第4節 日本への理解と信頼の促進に向けた取組	298
1 戦略的な対外発信	298
偽情報対策を含む情報戦への対応 (p.298)、戦略的対外発信の取組 (p.298)、 ジャパン・ハウス (p.300)、諸外国における日本についての論調と海外メディアへの発信 (p.300)、 インターネットを通じた情報発信 (p.301)	
2 文化・スポーツ・観光	301
概要 (p.301)、文化事業 (p.302)、人物交流や教育・スポーツ分野での交流 (p.304)、 知的分野の交流 (p.306)、日本語普及 (p.308)、文化無償資金協力 (p.308)、 国連教育科学文化機関 (UNESCO：ユネスコ) を通じた協力 (p.309)	
コラム ICTを活用した新たな国際文化交流のかたち	311
コラム 国連教育科学文化機関 (UNESCO：ユネスコ) を通じた日本のウクライナ支援	312

第4章 国民と共にある外交

第1節 世界とのつながりを深める日本社会と日本人	314
1 日本の成長と外国人材の受入れ	314
2 国際社会で活躍する日本人	315
コラム 国連の舞台を支えてきた日本人の声	
国連専門機関の組織運営をサポートして	316
国連の現場での活動は「謙虚さ」を強みに	317
コラム 外務省と市民社会のもう一つの連携 ―C7の活動―	321
コラム 現地での触れ合いを通して「森林保全」の在り方を考える	322
3 地方自治体などとの連携	323
第2節 海外における日本人への支援	327
1 海外における危険と日本人の安全	327
2 領事サービスと日本人の生活・活動支援	330
コラム 領事サービスのデジタル化 ―旅券、証明、ビザ（査証）のオンライン申請・決済の導入―	332
3 海外移住者や日系人との協力	336
4 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（ハーグ条約）の実施状況	337
第3節 国民の支持を得て進める外交	338
1 国民への積極的な情報発信	338
2 外交実施体制の強化	341
3 外交におけるシンクタンク・有識者などの役割	344
コラム 公邸料理人 ―外交の最前線の担い手として―	345
コラム 甞 ^{よみがえ} る外交の舞台・大使公邸 ―宮織技官の仕事―	347

資料編

慰安婦問題 参考資料	350
旧朝鮮半島出身労働者問題 参考資料	352
国際機関などに対する抛出実績 令和4年度外務省抛出実績	354
グローバルな課題の解決に向けて ― 国際機関で働くという選択肢 ―	356
JPO 経験者の声 国連の内部監査：その多様性と魅力	357
外務省における採用情報	358
地方創生支援事業一覧	360
国際社会及び日本の主な動き	362
要人往来	371
用語索引	410